2022年度活動概要　　ライティング指導研究会

ライティング指導研究会では，大学における英文のライティング指導の在り方と実践的指導法について考え，研究を行っています。2022 年度のプロジェクトテーマは前年度に引き続き，第 17 次プロジェクトである「遠隔授業でのライティング指導」でした。

2022 年度も，4 月，７月，９月，および 12 月の例会全てをオンラインで行い，会員の研究発表と意見交換を軸に活動を行いました。12 月に立命館大学吹田キャンパスで開催された JAAL in JACET2022 では，会員の山下美朋先生（立命館大学）と代表の大年順子が SIG ポスタープレゼンテーションに参加し，訪問者の先生方に当該研究会の説明をしました。また，『JACET 関西支部紀要』第 25 号に当該研究会の今後の活動について寄稿いたしました。さらに，３月 18 日に一般社団法人学術英語学会との共催セミナー（オンライン開催）として，代表の大年が「高年次学生を対象とした専門学術目的の英語（ESP)ライティング指導:授業実践とアンケート調査から」という題目で発表しました。基調講演は，学術英語学会の保田幸子先生（神戸大学）が「『エッセイ』というジャンルについて再考する:思考力と表現力を育てるライティング指導のヒント」という題目でされました。また，同じく学術英語学会の藤岡真由美先生（大阪公立大学）が，「理工系学生を対象とした英語アカデミックライティング指導:学部と大学院の接続への示唆」という題目で研究を報告されました。100 名近くの高校・大学の先生方が参加してくださり，高・大・院の接続を見据えた 21 世紀型ライティング教育のあり方，　教師の心構えについて学んだり，考えたりする機会となり，たいへん盛況なセミナーとなりました。

最後に，隔年で編纂している『JACET 関西支部ライティング指導研究会紀要』の第 15 号を発刊することができました。当該研究会の紀要は，研究会会員がそれぞれの研究成果を報告するもので，第 17 次プロジェクト（2021 年度～2022 年度）の第 15 号では，研究論文が５編，研究ノートが３編という，たいへん充実したものになりました。当該研究会の紀要は厳格な査読プロセスを経ており，ライティング指導および研究に貢献できるものであることを信じています。